

都道府県における 「療養病床アンケート調査」結果

平成19年3月
厚生労働省

目次

I 「療養病床アンケート調査」結果 <概要>..... 1

II 療養病床アンケート調査結果・施設票

1	回答施設の病床数	7
2	回答施設の入院患者数	7
3	医療区分（医療療養病床入院患者）	8
	○病院診療所別	9
	○都道府県別	10
4	ADL区分（医療療養病床入院患者）	12
5	医療区分・ADL区分組み合わせ（医療療養病床入院患者）	13
6	要介護状態等区分（介護療養病床入院患者）	14
7	医療療養病床、介護療養病床全体の転換意向	15
8	医療療養病床の転換意向	16
	○病院診療所別	17
	○都道府県別	18
9	介護療養病床の転換意向	20
	○病院診療所別	21
	○都道府県別	22
10	建設年度別病床数（医療療養病床・介護療養病床）	24
11	併設施設等の状況	25

III 療養病床アンケート調査結果・患者票

1	年齢	28
2	性別	29
3	主傷病名	30
	○医療区分別・全体	31
	○医療区分別・医療療養病床	32
	○医療区分別・介護療養病床	33
4	医療区分	34
5	ADL区分	35
6	要介護状態等区分	36
7	認知症高齢者の日常生活自立度	37
8	障害高齢者の日常生活自立度	38
9	世帯の状況	39
10	住居の状況	40
11	自宅での介護者の有無	41
12	特別養護老人ホームの申し込みの有無	42
13	介護老人保健施設の申し込みの有無	43
14	所得状況（医療療養病床）	44
15	所得状況（介護療養病床）	45
16	医療処置	46
	○医療区分別・全体	47
	○医療区分別・医療療養病床	48
	○医療区分別・介護療養病床	49
17	3ヶ月以内の急性増悪（急性期病院への転院等）の有無	50
18	それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性を踏 まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設等	52
	○医療区分別・全体	53
	○医療区分別・医療療養病床	54
	○医療区分別・介護療養病床	55

IV 療養病床アンケート調査について..... 57

V 療養病床アンケート調査票..... 59

VI 記入要領..... 65

VII 留意事項..... 70

「療養病床アンケート調査」結果<概要>

平成19年3月 厚生労働省

調査目的

今後本格化する療養病床の再編成に向け、各都道府県において地域特性に応じた対応方針を確立し、計画的な療養病床の転換を図るための基礎資料とするために、療養病床入院患者のサービスニーズや療養病床を有する医療機関の意向等を把握するものである。

調査方法等

○「Ⅰ 施設票」「Ⅱ 患者票」に基づき、転換意向、入院患者の状態等について以下の通り調査を実施した。

- ・アンケート調査の対象及び客体
 - 「Ⅰ 施設票」…療養病床を有する医療機関(全数)
 - 「Ⅱ 患者票」…上記医療機関の入院患者(1/3抽出)
- ・アンケート調査の時期
 - 平成18年10月1日

I 施設票

調査票送付施設：6,362医療機関
 回答施設数：5,930医療機関
 回答率：93.2%

①回答施設の病床数

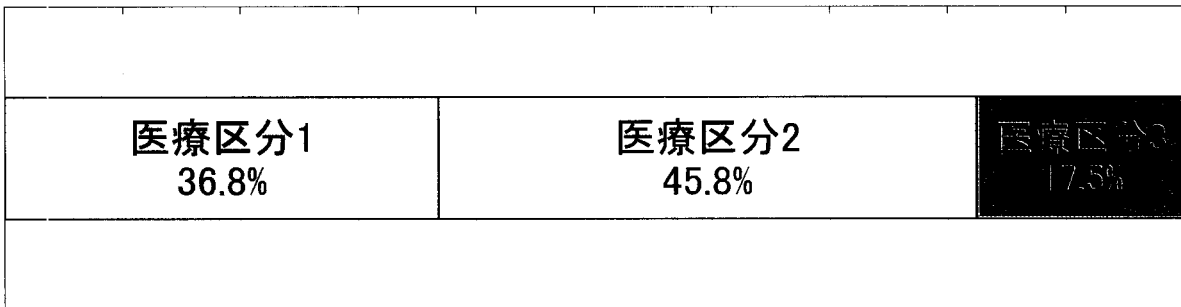
医療療養病床	(再掲) 介護保険 移行準備 病床	介護療養 病床	(再掲) 経過型介 護療養病 床
222,398床	1,925床	116,031床	518床

②回答施設の入院患者数

医療療養 病床	(再掲) 介護保険 移行準備 病床	介護療養 病床	(再掲) 経過型介 護療養病 床
196,480人	1,718人	107,592人	461人

③医療療養病床における入院患者の医療区分

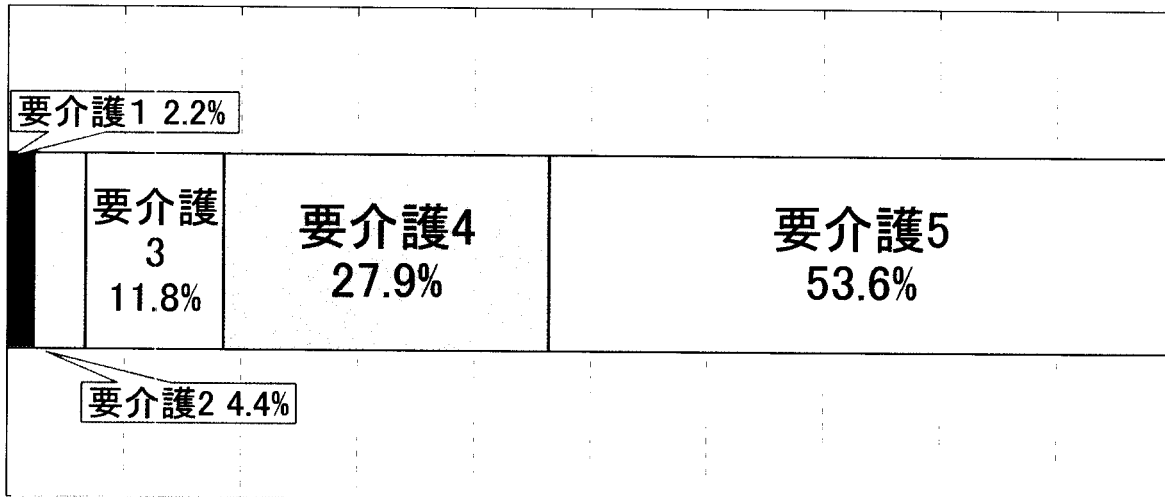
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



医療区分1 医療区分2 医療区分3

④介護療養病床における入院患者の要介護度状態等区分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

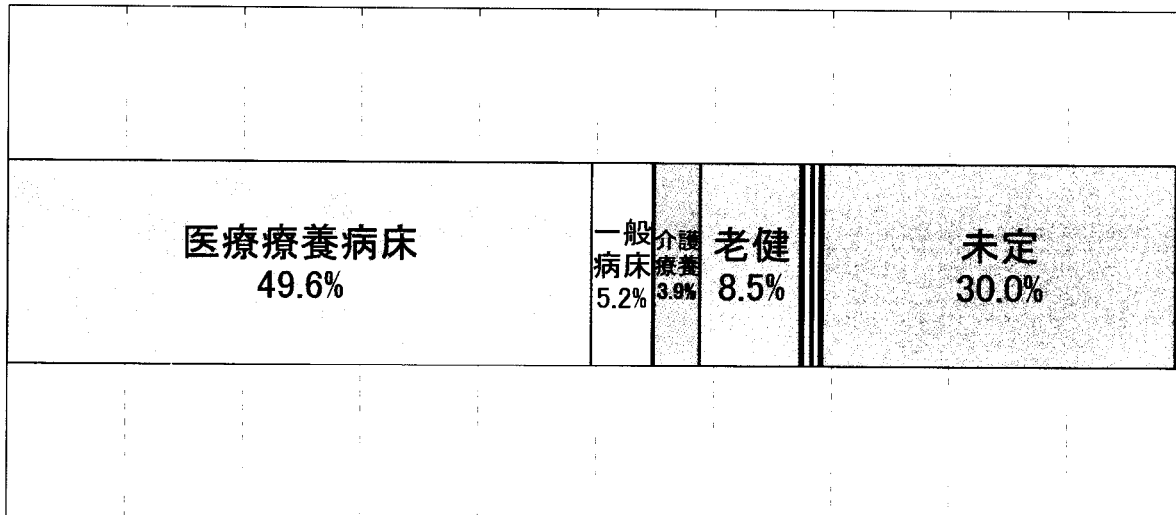


■ 要介護1 □ 要介護2 □ 要介護3 □ 要介護4 □ 要介護5

⑤医療療養病床と介護療養病床における転換意向

○療養病床全体の転換意向は、医療療養病床へ49.6%、介護老人保健施設へ8.5%、一般病床へ5.2%であり、未定は30.0%であった。

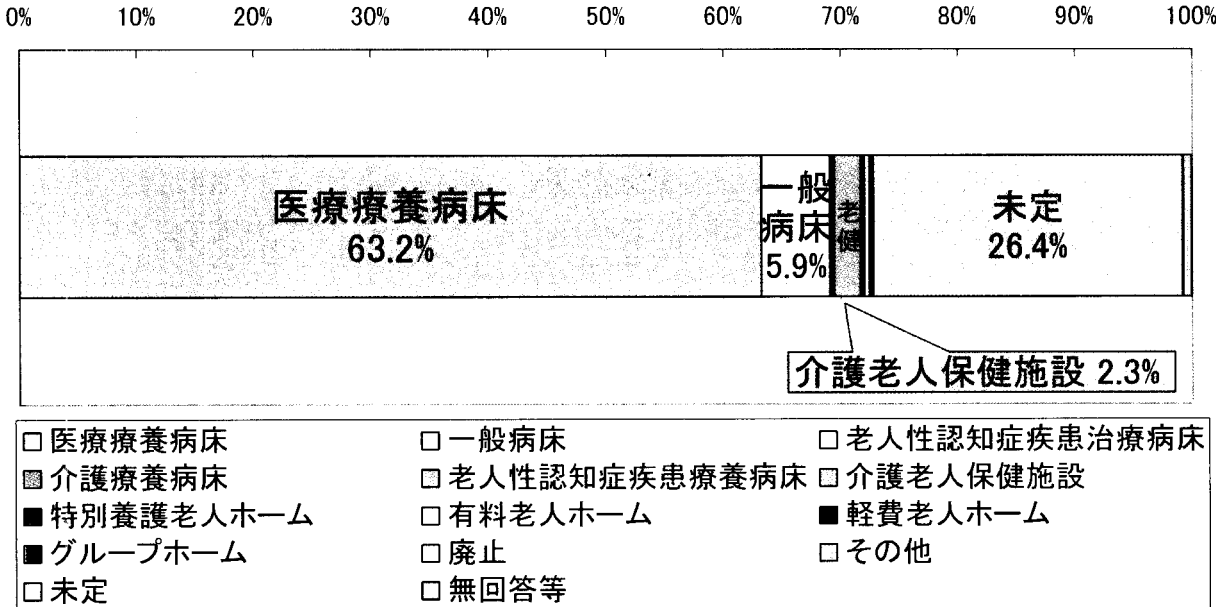
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- | | | |
|---|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 医療療養病床 | <input type="checkbox"/> 一般病床 | <input type="checkbox"/> 老人性認知症疾患治療病床 |
| <input type="checkbox"/> 介護療養病床 | <input type="checkbox"/> 老人性認知症疾患療養病床 | <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム | <input type="checkbox"/> 有料老人ホーム | <input checked="" type="checkbox"/> 軽費老人ホーム |
| <input checked="" type="checkbox"/> グループホーム | <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 未定 | <input type="checkbox"/> 無回答等 | |

⑥医療療養病床における転換意向

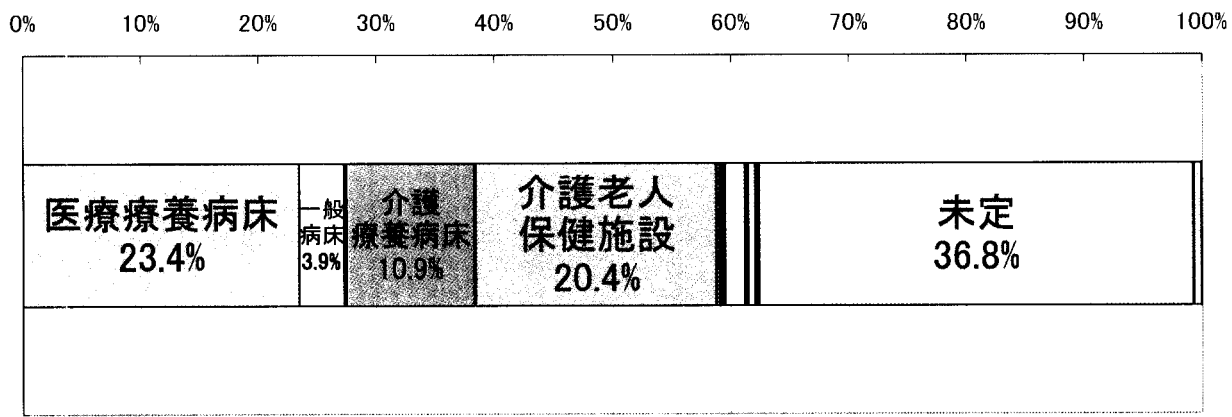
○医療療養病床の転換意向は、医療療養病床にとどまるが63.2%、一般病床へ5.9%、介護老人保健施設へ2.3%であり、未定は26.4%であった。



- 医療療養病床
- 介護療養病床
- 特別養護老人ホーム
- グループホーム
- 未定
- 一般病床
- 老人性認知症疾患療養病床
- 有料老人ホーム
- 廃止
- 無回答等
- 老人性認知症疾患治療病床
- 介護老人保健施設
- 軽費老人ホーム
- その他

⑦介護療養病床における転換意向

○介護療養病床の転換意向は、平成23年度まで介護療養病床にとどまるが10.9%、医療療養病床へ23.4%、介護老人保健施設へ20.4%であり、未定は36.8%であった。

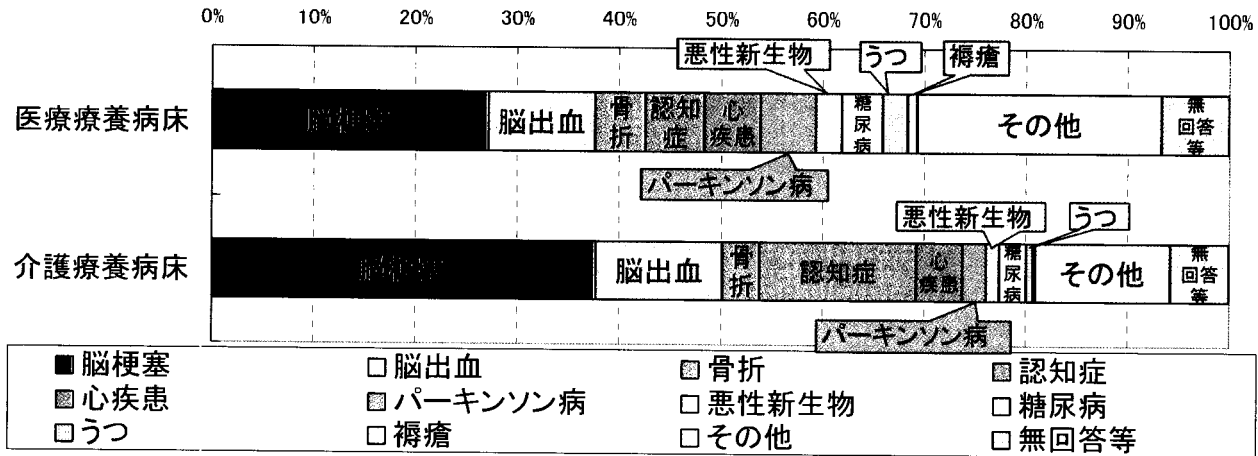


- 医療療養病床
- 介護療養病床
- 特別養護老人ホーム
- グループホーム
- 未定
- 一般病床
- 老人性認知症疾患療養病床
- 有料老人ホーム
- 廃止
- 無回答等
- 老人性認知症疾患治療病床
- 介護老人保健施設
- 軽費老人ホーム
- その他

Ⅱ 患者票

① 主傷病名

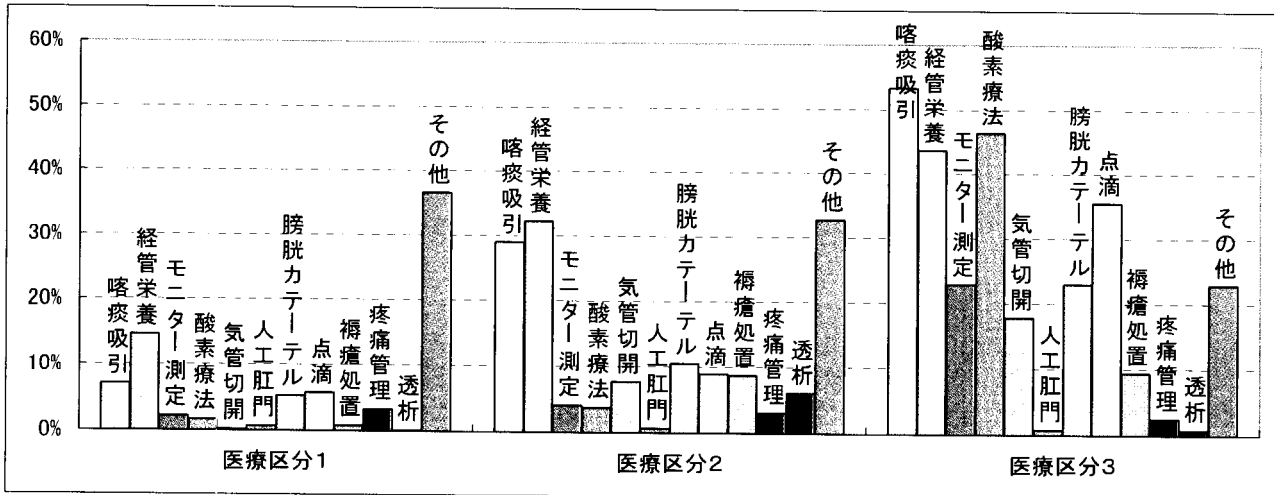
- 医療療養病床では、脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が37.6%、認知症が5.8%、心疾患が5.5%、パーキンソン病が5.5%であった。
- 介護療養病床では、脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が50.2%、認知症が15.4%、心疾患が4.5%であった。



② 医療療養病床における医療処置

(10%を超える者に行われていた医療処置)

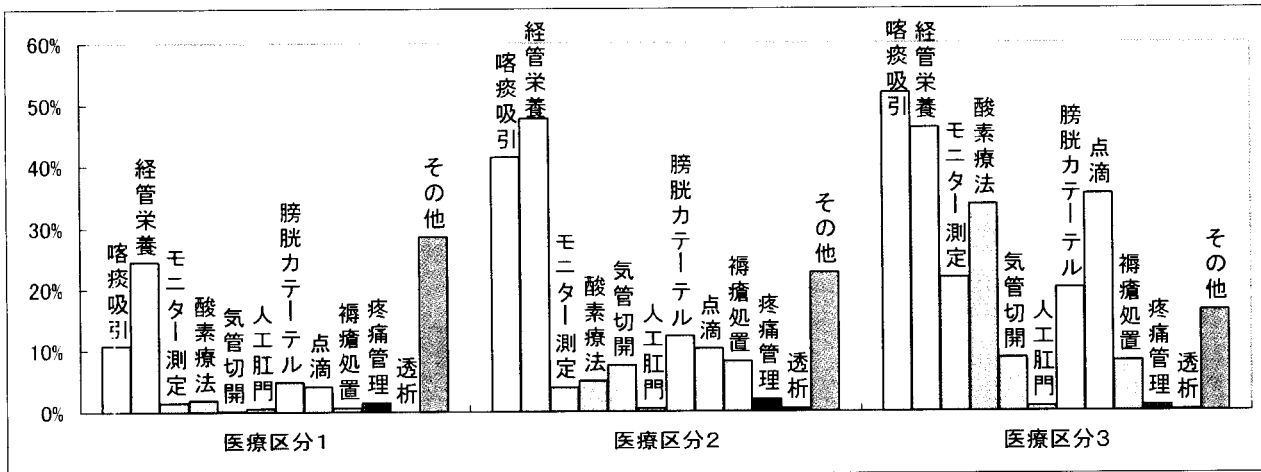
- 医療区分1では経管栄養が14.6%、
- 医療区分2では経管栄養が32.3%、喀痰吸引が29.0%、膀胱カテーテルが10.4%、
- 医療区分3では喀痰吸引が53.3%、酸素療法が46.3%、経管栄養が43.6%、点滴が35.5%、膀胱カテーテルが23.0%、モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)が22.8%、気管切開が17.9%であった。



③介護療養病床における医療処置

(10%を超える者に行われていた医療処置)

- 医療区分1では経管栄養が24.5%、喀痰吸引が10.8%、
- 医療区分2では経管栄養が47.8%、喀痰吸引が41.4%、膀胱カテーテルが12.3%、点滴が10.2%、
- 医療区分3では喀痰吸引が51.9%、経管栄養が46.2%、点滴が35.5%、酸素療法が33.7%、モニター測定（心拍、血圧、酸素飽和度）が21.8%、膀胱カテーテルが20.1%であった。



④急性増悪（急性期病院への転院等）の有無

○3ヶ月以内に急性増悪があった者の割合は医療療養病床では9.8%、介護療養病床では6.6%であった。

	なし	あり	不明
医療療養病床	86.4%	9.8%	不明
介護療養病床	90.5%	6.6%	不明

なし あり 不明 無回答等

⑤それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設

- 医療療養病床では、多い順に、医療療養病床が52.1%、特別養護老人ホームが16.8%、介護老人保健施設が15.9%であった。
- 介護療養病床では、多い順に、介護療養病床が57.4%、特別養護老人ホームが26.2%、介護老人保健施設が15.8%であった。
(複数回答)

